

印刷けんぽ

新年特別号

ニュース No.215

全国印刷工業健康保険組合
東京都台東区東上野1-7-2
☎03-5834-3180
令和7年1月1日発行

<https://www.insatukenpo.or.jp>



年頭のご挨拶(年頭所感)

理事長 佐野 栄二



明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また、平素より当組合の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の悪化など、ますます不安定な様相を呈しています。

国内では、昨年の猛暑や集中豪雨、そして初めての南海トラフ地震臨時情報の発表があり、自然災害に対する防災・減災への取り組みを、個人や家庭、そして企業単位でも改めて意識せざるを得なかったことと思います。

被災された方にお見舞い申し上げますとともに、被災地の復旧・復興がさらに加速されますことを願う次第でございます。

さて、現在進行中の当組合の令和6年度の予算ですが、本年令和7年は、団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者医療制度に移行されることに加え、インフルエンザや新型コロナウイルスを含む感染症等により医療費が増加することなどを見込み、3,000万円の赤字を見込んでいるところです。また一方で、昨年の春闘を契機とした賃上げに伴い保険料収入の増加も見込まれておりまして、今後、財政が改善し黒字に転じることも想定されるところでございます。

本年、国民の5人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会を迎えます。高齢者医療制度への納付金等について国は、現役世代の負担軽減を進めているところではございますが、それでも大幅な負担増が見込まれます。持続可能な社会保障制度のさらなる構築のため、当組合といたしましては、引き続き国に抜本的改革を働きかけていく所存です。

また、ご高承のとおり、昨年の12月2日から健康保険証が廃止され、マイナ保険証を基本とする仕組みへと移行いたしました。これまでお使いの健康保険証は1年間延長することとなっておりますが、マイナ保険証は、質の高い医療の提供や効率化、さらには患者の利便性向上や個人の健康管理にも貢献する新しい基盤となります。将来に亘って社会保障制度を発展させるためには、医療のDX化は必須となってまいりますので、マイナ保険証の登録およびご利用について、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会保障制度は、今後も大きな変化が考えられ、先行きが不透明ではありますが、当組合といたしましては、今年もご加入者の皆様の医療のセーフティネットとしての役割を果たすべく、健康寿命の延伸や健康づくりに取り組んでまいり所存でございます。

皆様方におかれましても、引き続き、当組合の事業運営に絶大なご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、今年が皆様にとってよき年になりますことをお祈り申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



